

VI 未規制化学物質等の状況

1 調査概要

内分泌かく乱化学物質については、環境省が魚類への内分泌かく乱作用の疑いがあるとした2物質を調査した。

有機スズ化合物については、過去5年間の調査で環境省が設定した公共用水域の「水質評価の(暫定)目安値」($0.01 \mu\text{g/L}$)を超えたことがある1地点について2物質を調査した。

2 調査物質

内分泌かく乱化学物質 (2物質) 4-*tert*-オクチルフェノール、ビスフェノールA

有機スズ化合物 (2物質) トリブチルスズ化合物、トリフェニルスズ化合物

3 調査地点及び調査対象

内分泌かく乱化学物質は県内5地点(表VI-1)、有機スズ化合物は県内1地点(表VI-2)で水質を調査した。

4 調査結果

(1) 内分泌かく乱化学物質

4-*tert*-オクチルフェノールは全地点において、報告下限値未満であった。

ビスフェノールAは鮎沢川、大井川、天竜川及び萩間川の4地点で報告下限値以上が検出された。萩間川では、 $0.45 \mu\text{g/L}$ と、直近の全国調査(平成28年度)の検出範囲($0.005 \mu\text{g/L}$ 未満 $\sim 0.15 \mu\text{g/L}$)に比べて高い結果となった。

(2) 有機スズ化合物

トリブチルスズ化合物及びトリフェニルスズ化合物は、公共用水域における水質評価の目安値以下であった。

表VI-1 令和4年度未規制化学物質調査結果（内分泌かく乱化学物質） 単位：μg/L

地点名	物質名	4- <i>tert</i> -オクチル フェノール	ビスフェノールA
鮎沢川小山新橋		<0.01	0.01
安倍川安倍川橋		<0.01	<0.01
大井川富士見橋		<0.01	0.08
天竜川掛塚橋		<0.01	0.01
萩間川東中歩道橋		<0.01	0.45
	報告下限値	0.01	0.01
	報告下限値以上/検体数	0/5	4/5

表VI-2 令和4年度未規制化学物質調査結果（有機スズ化合物） 単位：μg/L

地点名	物質名	トリブチルスズ化合物	トリフェニルスズ化合物
安良里港		0.007	<0.005
水質評価の目安値		0.01	0.01
	水質評価の目安値超過/検体数	0/1	0/1